# 社会資本総合整備計画

平成28年3月15日

| 計画の名称 | 長岡京市公共下水道防災・安全対策整備計画（防災・安全） | | | 重点計画の該当 | ― |
|---|---|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成25年度　～　平成28年度　（4年間） | 交付対象 | 京都府長岡京市 | | |

計画の目標

浸水対策事業としては、老朽施設の長寿命化計画を策定し、内水被害の永続的軽減を図る。また、浸水被害未解消地区の縮減および近年降雨状況を考慮した浸水対策計画の再構築を行う。
汚水事業としては、地震対策として幹線の耐震化とともに、防災にかかる下水道施設の整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

- 雨水施設（今里ポンプ場）の下水道長寿命化計画策定率をH28までに100％とする。
- 地震対策として幹線の耐震化を中心に、防災に係る下水道施設の整備を行います（今期対象：中央長岡・南長岡処理分区（対象計画人口：5,582人））。
  これにより、レベル2地震動に対し幹線の流下能力を保持可能とします。また、防災拠点へのマンホールトイレ設置も併せて実施し、震災時等の衛生的環境を一体的に確保します。
- 風呂川排水区（下水道法による事業計画117ha）の整備を、現在の60.47haからH27までに13.57haを整備し75.14ha（累計64.2％）とします。
- H28までに五間堀排水区（下水道法による事業計画122ha）の分水入孔4箇所の実施設計を完了します。

| 定量的指標の定義及び算定式 | 定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H25当初） | 中間目標値（H26末） | 最終目標値（H28末） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 【雨水】下水道施設（今里ポンプ場）における長寿命化計画策定率 | 0% | 0% | 100% | |
| 災害用マンホールトイレ設置箇所数（市内防災拠点である小・中学校　全体14箇所中3箇所） | 0箇所 | 3箇所 | 3箇所 | |
| 中央長岡・南長岡処理分区の汚水幹線耐震化整備人口（（整備延長÷全体整備延長(410m)）×計画人口：5,582人） | 0人 | 5,582人 | 5,582人 | |
| 風呂川排水区下水道法による事業計画区域整備率（整備面積÷風呂川排水区下水道法による事業計画面積（117ha）） | 51.7% | 55.7% | 64.2% | |
| 五間堀排水区における分水人孔実施設計率（実施設計箇所÷全分水人孔箇所（4箇所）） | 0% | 0% | 100% | |

| 全体事業費 | 合計（A＋B＋C＋D） | 96百万円 | A | 78百万円 | B | 0百万円 | C | 18百万円 | D | 0百万円 | 効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D） | 18.80% |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

**交付対象事業**

A　基幹事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 事業及び施設種別 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積等） | 市町村名 | 事業実施期間（年度） H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 個別施設計画策定状況 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A-1 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 雨水 | 新設 | 雨水施設長寿命化計画策定（ポンプ場） | 長寿命化計画策定（ポンプ場） | 長岡京市 | ― | ― | ― | ― | 8 | 策定済 | 長寿命化 |
| A-2 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 汚水 | 新設 | 地震対策緊急整備事業（マンホールトイレ設置事業） | マンホールトイレ 46基3箇所 | 長岡京市 | ― | | | | 18 | ― | 地震対策緊急整備 |
| A-3 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 汚水 | 改築 | 地震対策緊急整備事業（中央長岡・南長岡処理分区地震対策管渠等整備事業） | 管更生 φ500mm～φ800 L=410m | 長岡京市 | ― | | | | 6 | ― | 地震対策緊急整備 |
| A-4 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 雨水 | 新設 | 風呂川排水区浸水対策事業 | 水路築造　L=900m | 長岡京市 | ― | ― | ― | | 35 | ― | |
| A-5 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 雨水 | 新設 | 五間堀排水区浸水対策事業 | 分水人孔実施設計 | 長岡京市 | | | ― | ― | 11 | ― | |
| | | | | | | | | | | | | | | 合計 | 78 | | |

B　関連社会資本整備事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | 要素となる事業名 | 事業内容（延長・面積等） | 市町村名 | 事業実施期間（年度） H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | | 合計 | | |

C　効果促進事業

| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 省略工種 | | 要素となる事業名 | 事業内容 | 市町村名 | 事業実施期間（年度） H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C-1 | 下水道 | 一般 | 長岡京市 | 直接 | | 汚水 | 新設 | 防災対策下水道施設促進事業 | マンホールトイレ整備 | 長岡京市 | ― | ― | ― | ― | 18 | |
| | | | | | | | | | | | | | | 合計 | 18 | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | 備考 |
|---|---|---|
| C-1 | 基幹事業（A-2）と一体的に実施し、公的施設へのマンホールトイレ整備を検討することによって、地震対策に寄与する。 | |

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

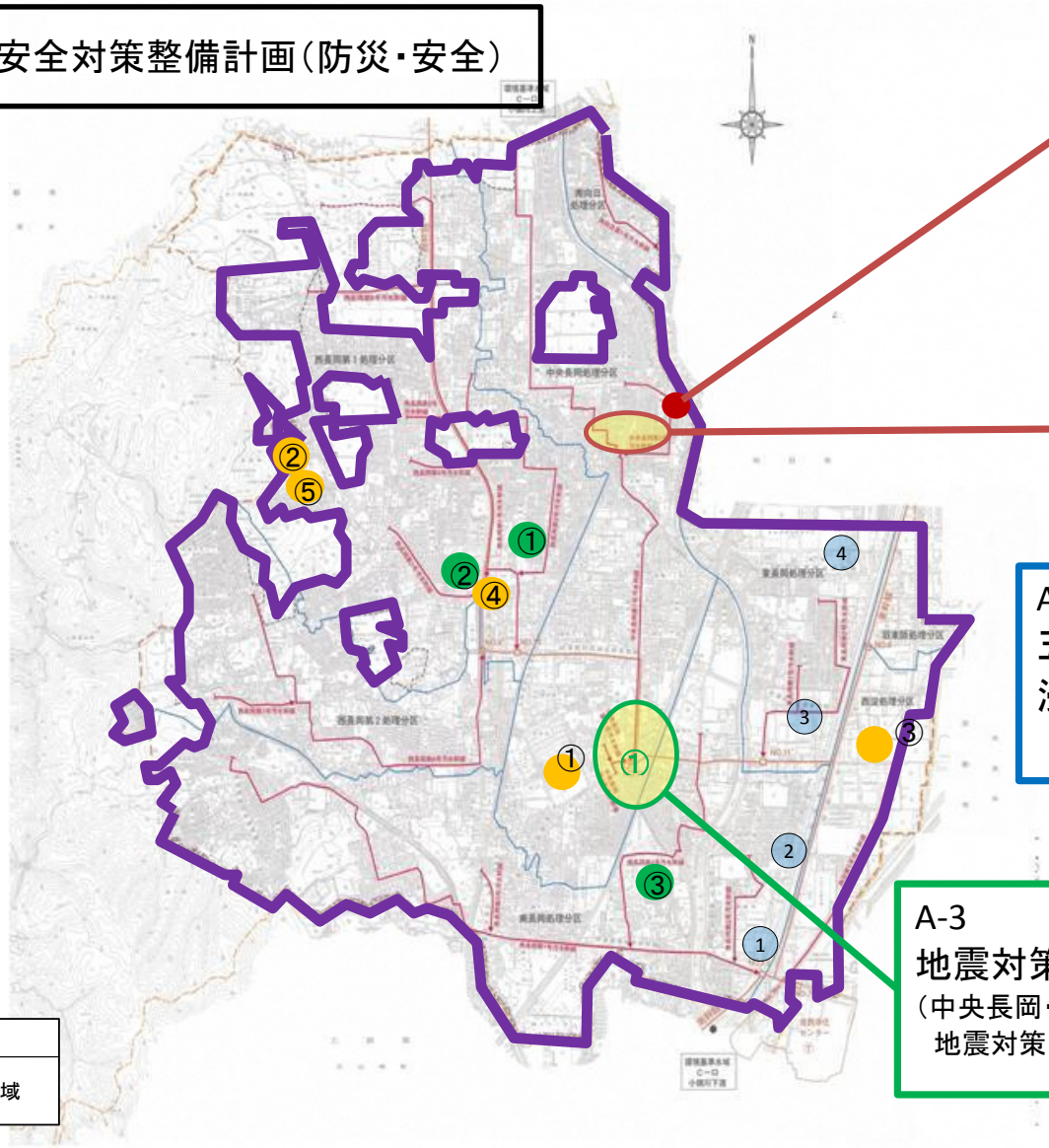
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接間接 | 事業者 | 要素となる事業名（事業箇所） | 事業内容（面積等） | 市町村名 | 事業実施期間（年度） H25 | H26 | H27 | H28 | 全体事業費（百万円） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | 合計 | | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | 備考 |
|---|---|---|
| | | |

（参考図面）社会資本総合整備計画

| 計画の名称 | 長岡京市公共下水道防災・安全対策整備計画(防災・安全) | | |
|---|---|---|---|
| 計画の期間 | 平成25年度　～　平成28年度　（4年間） | 交付対象 | 長岡京市 |

## 長岡京市公共下水道防災･安全対策整備計画(防災･安全)




**A-1**
雨水施設長寿命化計画策定
（ポンプ場）

**A-2**
地震対策緊急整備事業
（マンホールトイレ設置事業）
●　･･･全3箇所(全46基)

**A-3**
地震対策緊急整備事業
（中央長岡･南長岡処理分区
地震対策管渠等整備事業）

**A-4**
風呂川排水区
浸水対策事業

**A-5**
五間堀排水区
浸水対策事業
●　･･･全4箇所

**C-1**
防災対策下水道施設
促進事業
●　･･･全5箇所

| 凡　例 | |
|---|---|
| | 下水道法による事業計画区域 |

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

（汎用タイプ）

計画の名称　：　長岡京市公共下水道防災・安全対策整備計画（防災・安全）

都道府県名　：　京都府長岡京市

| | チェック欄 |
|---|---|
| Ⅰ　目標の妥当性 | |
| ①上位計画等との整合性 | ✔ |
| ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） | ✔ |
| Ⅱ　整備計画の効果・効率性 | |
| ①整備計画の目標と定量的指標の整合性 | ✔ |
| ②定量的指標の明瞭性 | ✔ |
| ③目標と事業内容の整合性 | ✔ |
| ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性 | ✔ |
| Ⅲ　整備計画の実現可能性 | |
| ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性） | ✔ |
| ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） | ✔ |